



2023年9月号(第65号)

◆9月の休館日 = 4日、11日、19日、25日



ホームページ

発行 NPO 法人いこよ友の会  
〒061-1134  
北広島市広葉町3丁目1番地  
TEL 011-373-2801



Instagram

# トマト収穫体験

# 寒地稲作成功 150周年記念フォーラム



学童クラブの子供たちが参加してくれました。北広環境市民の会の増田さんの説明を聞いてからトマトの収穫開始です。「これ、取っていいの?」と確認しながら真っ赤なトマトをポリ袋にどんどん入れていきます。ポリ袋いっぱいトマトはこれからやってくるお友達と分け合う、とのこと。

次にジャガイモ掘りを予定していましたが、おやつタイムの時間ということでやむを得ず中止。増田さんと職員とで掘り出したジャガイモを学童クラブに届けました。

令和5年度  
寒地稲作成功150周年  
記念事業

中山久蔵翁  
明治の寒地稲作  
挑戦から日本が誇る米どころへ

定員400名(先着)

日時 令和5年(2023)  
9月23日(祝・土) 14:00~  
15:00(入場) 16:00(閉会)

会場 北広島市芸術文化ホール(花ホール)  
〒061-1134 北広島市広葉町3丁目1番地

申込み 電話メール(8月1日~9月20日まで)  
申し込み先: エコミュージアムセンター 総務課  
電話 011-373-2801 e-mail emc@city.kitahiroshima.lg.jp

趣旨説明  
中山久蔵翁、明治の寒地稲作挑戦から日本が誇る米どころへについて  
物産作成の150周年記念事業実行委員会 委員長 徳本 晴 氏

基調講演  
北の大地における「皇國の米」と中山久蔵  
元慶應義塾大学非常勤講師・博士(文学) 櫻井 英枝 氏

特別リレートーク  
稲作の歴史と稲作の発展(1881) 9月2日  
明治神宮国際交流文化研究所研究員 櫻井 英枝 氏  
北海道のお米と稲作の発展について  
～米が少なかったからへの挑戦～  
認定特定非営利活動法人 クワーク博士創りた地・久慈の稲作研究会  
理事 藤田 久雄 氏  
株式会社アシアパル 地域連携担当 藤田 久雄 氏  
認定講師、産直推進、稲作学校、農産物学校の子供たちに  
お米を贈る稲作学校、お米の文化を伝えるお米学校

主催 北広島市教育委員会  
協賛 北広島市エコミュージアムセンター 稲作部  
後援 北広島市150周年記念事業実行委員会 北広島市広葉町3丁目1番地 TEL 011-373-0188

今年は中山久蔵翁が寒地稲作に成功してから150周年です。これを記念したフォーラムとして「中山久蔵翁明治の寒地稲作挑戦から日本が誇る米どころへ」が開催されます。9月23日(祝)、14時から。会場は花ホール、定員は先着400名。各種講演に加えて太子町からの中継も予定。

また、花笠笠踊り、広島音頭、相撲甚句、子供たちの太子町視察発表等盛りだくさんです。申し込みはエコミュージアムセンター知新の駅へ電話011-373-0188 か emc@city.kitahiroshima.lg.jp へ。9月20日〆切です。詳細は広報9月1日号、ポスター、チラシでご確認ください。

# 会員募集改訂版

いっしょにやりましょう!

**会員募集中!**

改訂版

会員募集している団体を紹介しています。  
関心あるチラシを自由にお取りください。

団体の皆さんの協力を得て、「会員募集」改訂版が出来上がりました。スポーツ系9団体、カルチャー系10団体を収録しています。受付窓口の右手のチラシ台に置いてありますので、一度ご覧いただきたいと思えます。興味ある活動をしている団体さんのチラシを自由にお持ち帰りください。活動内容をよくお読みいただいて、担当者の方にお話を聞いてみてはいかがでしょうか。